

サービスの質向上と見える化の徹底

社会福祉法人 ダビデ会 昭島ナオミ保育園

住所/TEL 東京都昭島市玉川町1丁目10番4号 / (042) 545-3561

URL/E-mail / keiko@akishimanaomi.jp

経営理念

1. 健全育成

心、体、知性の育ちのポイント、時期を逃さずに応援していき、子どもの最善の利益を最優先します。

2. 福祉的教育支援

保育と教育の融合によるキリスト教精神に基づいた人格教育（＝ナオミの6領域）を通し、子ども一人ひとりを丁寧に、心をこめて応援していきます。

3. 地域福祉サービス推進

保育参観にいつでも来園できるように、また卒園後も遊びに来たくなる開かれた園づくりをめざし、子育てを生涯応援していきます。

事業内容

保育所（108人） 1 か所

収入

（法人全体）
平成22年度決算

①社会福祉事業事業	184,994,501円
②公益事業	0円
③収益事業	0円
合計	184,994,501円

従業員数

（法人全体）

40名（非常勤含む）

当面する経営課題

- 保育実践の質を保つ人材育成及び人材確保。
- 保育所についてのPR力をあげること。

発表する取組みに着手した理由、背景

措置時代の保育所経営体質を改善すべく、経営改革推進に奮闘し始めたのは、数年前のことであった。当時、保育所において、保育士は保育室で保育実践をするために雇われ単なる一個人でいればよく、保育所経営は、与えられた任務をこなしていれば成し得た。

しかし、契約の時代へと突入し、企業の参入をはじめとする激動の保育業界を生き抜くすべを考えなければならなくなったのである。

職員間の意識改革、すなわち保育士は保育という経営を行う一経営者であるといった意識をめざし、第三者評価受審を全職員で受けるものとした。このことによりサービスの質向上の“見える化”が可能となった。

この“見える化”については、“育ちの見える化”、“保育援助力向上の見える化”、“責任の見える化”の3点について、特に力を入れた。そして、これら3点の“見える化”は、当園のめざす経営理念について、保護者と保育実践を通して共有することを心がけて行った。その効果について、3点にわけて述べたい。

まず1点目の“育ちの見える化”については、10年越しの努力を要した。しかし“育ちの見える化”に挑戦し続けたことにより、子ども1人1人の保育援助が具体化され、保育所全体として一貫性のある援助を可能にしたことが効果としてあげられる。また、保幼小連携に力を入れている日本生活科・総合的学習教育学会より、研究奨励賞をいただくといった副賞も得ることができた。(①資料編)

2点目の“保育援助力向上の見える化”については、保育所の自己評価として、現在研究中のものである。保育士が自己の保育実践をふりかえり自己評価を下したものを、他の保育士がうけつぎ、自己の評価につなげていくことを目指した。これにより、全保育士の自己評価の活用が可能になり、保育援助力向上の過程が“見える”ようになった。それにともない、職員の資質向上にもつながるといったことがもう1つの効果としてあげられる。これについては、その一端が日本教育新聞に掲載された。(②資料編)

3点目の“責任の見える化”については、その追求の成果として委員会制度の設立が可能となった。これにより、保育士が園全体を経営するといった経営者であるという意識が向上するばかりではなく、経営者育成の道のり、すなわち人材育成の手法が明確になった。さらに、利用者調査における総合満足度が上昇したこともその効果の一端としてあげられる。

保育サービスの質向上と 見える化への挑戦

社会福祉法人ダビデ会
昭島ナオミ保育園 園長
秋草学園短期大学・淑徳大学兼任講師
教育学博士 伊能 恵子

背景

JO駅型所
キッズステーション
□×駅

株式会社
Bネッセ 保育所

小規模法人
昭島ナオミ保育園

企業内
保育所A社

JO駅型
キッズステーション
□×駅

大・中規模法人
保育所

企業内
保育所B社

生き残るために

昭島ナオミ保育園の
セールスポイント明確化

||

保育サービスの質

→見える化する

保育サービスの質を見える化する
～見える化の徹底と挑戦～

- ①子どもの育ちの見える化
- ②保育援助力向上の見える化
- ③責任の見える化

見える化の徹底と挑戦:

①子どもの育ちの見える化

保育援助をうけて、子どもがどう
育っているか・・・？

或いは

育っていないのか・・・？

見える化の徹底と挑戦:

①子どもの育ちの見える化

子どもの育ちの現状を
全員で出し合う



ルーブリック作成

見える化の徹底と挑戦:

①子どもの育ちの見える化(資料編)

当園のルーブリックが学会で評価をえる

日本生活科・

総合的学習学会誌掲載論文



研究奨励賞受賞



見える化の徹底と挑戦:

②保育援助力向上の見える化

保育実践が効果的に行われているか？

或いは

保育実践が効果的に行われていないか？

見える化の徹底と挑戦： ②保育援助力向上の見える化

保育実践の効果の現状を
全職員で出し合う

↓
ループリック作成

見える化の徹底と挑戦： ②保育援助力向上の見える化(資料編)

当園の保育援助力見える化の取り組みが新聞に載る



見える化の徹底と挑戦：

③責任の見える化



見える化の徹底と挑戦：

③責任の見える化

保育所内の全保育実践

||

保育所経営実践

見える化の徹底と挑戦：
③責任の見える化

意識改革

保育実践者

||

全職員

||

保育所経営者

見える化の徹底と挑戦：
③責任の見える化

保育課程を
全職員で作成

見える化の徹底と挑戦：
③責任の見える化

保育課程を
支える部署を考案



委員会設立

見える化の徹底と挑戦の
成果及び効果

- ・人材育成の手法の明確化
- ・利用者を含む第三者との
保育サービス共有化



利用者調査における総合満足度向上

今後の課題

保育サービスの見える化 =
明確化された人材育成手法
の効果検証として..

→ 保育サービスの質の
PRとなるか